

「指導案」・「レポート」の基本書式について (H29)

2016, 12, 13 石教研 技・家部会 研究担当

1. 「指導案」の基本書式について

技術・家庭科学習指導案		日 時 2017年 10月 18日 学 級 ○○市立○○学校 場 所 ○○年○組(○○名) 指 導 者 ○○室 ○○○○
1. 分野名	・基礎的・基本的な内容を押さえたもの	
2. 題材名	・生徒の日常生活との関わりや社会とのつながりを重視したもの	
3. 題材について	・自己の生活の向上と共に家庭や地域社会における実践に結びつけることができるもの	
4. 生徒の実態		
5. 題材の目標		
6. 題材の指導計画と評価計画(○時間計画 本時△/○)		
時間	単元名と学習内容	評価規準
1		*文末に4観点の区分をつける
2		
7. 本時の学習		
(1) 本時の目標(目標の設定は1~2くらいとし、的をしぼって設定する)		
(2) 研究とのかかわり		
(3) 本時の展開案 *「本時の評価」は最近の傾向として、展開案の中に記載する		
過 程	○主な学習活動	◇教師の働きかけ
見直す・つかむ	連鎖的思考 <「社会(家庭生活)とのつながり」を実感させた指導実践> ☆導入の課題発見における「連鎖的思考」の場面設定 ・「生活経験や体験」、「既習事項」、「既存の技術の理解」を活用しながら問題や課題を考えることで、社会(家庭生活)とのつながりを意識させる。 ・生活を見直し問題を見出す、なぜかを対話的(人・物)に考える。	
課題発見・課題設定	本時の学習課題 ◇自ら解決したいと意欲持てる課題、解決が大切と思える課題	
見通す・創る	工夫し創造する能力を育む指導・評価の工夫 *観点別評価は1~2くらいとする	
解決策の方法・課題解決	◇これからの社会を生き抜くため、また問題を解決していくためには基礎的な知識の習得のみならず、「新しい価値を工夫し創造する能力」が求められる。より良い生活や持続可能な社会の構築に向けて工夫し創造する能力を育む指導・評価を工夫する。	
見直す・改善	<「問題解決的な学習」を取り入れた指導実践> ①生徒の思考を広げ深める思考過程の工夫(可視化できるワークシートの充実) ②生徒の思考を広げ深めるの学習形態の工夫(ペア学習、グループでの学び合いなど) ③工夫し創造する能力を育む指導・評価の工夫	
評価・改善	振り返る <「社会(家庭生活)とのつながり」を実感させた指導実践> ☆終末における「まとめ・振り返り」の場面設定 ・単純な自己評価や「楽しかった」だけではなく、「何がわかったのか」、「どのように成長できたか」、「社会(家庭生活)での実践の可能性」や「新たな課題発見」につなげる振り返りを行うことで、主体的な学びとなる。 ・学習活動を振り返り、意味付けたり、身に付いた資質・能力を自覚する。	
終末		

全員が指導案を提出する必要はありません

・「本時の評価」は、本時の「展開案」の右列に記載します。4観点のうち、1~2に絞ってください。

・「展開案」は、平成28年度「中学校教育課程改善の手引きを基本としています。

・課題設定前に「経験的思考」、終末で「振り返り」の場面設定を行って下さい。

これらの書式以外でもかまいません

・レポートの内容により、独自の書式でもかまいません。

2. 「レポート」の基本書式について(例)

○○○○年度 石教研専門部会「技術・家庭科部会」レポート

例 ; 「社会にいきる技術・家庭科教育」
 ~主体的に生活を工夫し創造する生徒の育成~
 (学校名) ○○市立○○中学校 (氏名) ○○ ○○

1. はじめに 省略してもよい

2. 題材名(題材の目標・指導・評価、指導案など) 題材を絞らない場合は省略してもよい

3. 研究の内容(ねらい・概要など) 生徒記入のワークシートや資料などがあるとよい

4. 成果と課題(まとめ・おわりになど)